

庁内検討体制

総合計画策定本部

委員会・企画会議

総合計画策定全般に係る事項について協議・承認  
(現行計画の総括・評価, 改定計画の政策体系, 計画のフレーム, 計画の構成 など)  
【構成員】(主宰)本部長(市長), 副本部長(副市長), 各部署長等

特定課題検討会議 ( (仮称) 活力創造タスクフォース)

次世代育成・少子化対策など, 全分野横断かつ本市が特に重点を置く特定課題の解決を図るため, ロードマップの整理等, 関連施策の総合化・体系化を図るとともに, 新たな施策・事業を創出する。【構成員】関係する課長等

部会

「スーパースマートシティ」の実現に資する分野横断的な政策・施策の検討を強化するため, 部会の構成を見直す。 ※詳細な議論の進め方については今後検討  
【構成員】関係する参事, 部局次長, 副参事, 課長等

(仮) NCCが支える「地域共生社会」創出部会

関係部局: 行政経営部, 総合政策部, 市民まちづくり部, 保健福祉部, 子ども部, 建設部, 都市整備部, 消防局, 上下水道局, 教育委員会事務局

(仮) 「うつのみや市民」が総活躍する「地域経済循環社会」創出部会

関係部局: 総合政策部, 市民まちづくり部, 保健福祉部, 子ども部, 経済部, 都市整備部, 国体・障害者スポーツ大会局, 教育委員会事務局

総務部会 (各政策の柱を支える行政経営基盤)

関係部局: 行政経営部, 総合政策部, 理財部, 市民まちづくり部, 建設部

部会内ワーキンググループ (必要に応じ開催)

【構成員】各部会に属する課の課長補佐

(仮称) うつのみや未来創造プロジェクト

課題等導出に向けたワークショップ【R3設置】

役割: 前期基本計画の評価・検証等を行うとともに, 今後取り組むべき政策・施策の方向性を検討

施策等の検討に向けたワークショップ【R4設置】

役割: 将来を見据えた新たな取組について重点的に検討

その他の検討体制

情報化推進本部

・情報化推進の方針・進め方  
・情報化に関する分野横断的・全庁的な施策の立案

カーボンニュートラル推進本部

・脱炭素社会の構築に向けた取組方針・進め方  
・カーボンニュートラルを実現するための分野横断的・戦略的な施策事業の立案  
・2030年度削減目標値の見直し検討

意見反映

庁外検討体制

市民懇談会【令和3・4年度設置】

令和3年度【現計画の評価】

<役割>

現行計画を評価し, 改定に向けた課題や取組方針の導出を行う。

- ①学識経験を有する者 (7名程度)
- ②関係機関及び関係団体の職員 (20名程度)
- ③18歳以上の市民または通勤する者で市長が公募により選考した者 (4名程度)

令和4年度【政策・施策の検討】

<役割>

前年度の評価結果を踏まえ, 次期計画の政策・施策の検討を行う。

- ①学識経験を有する者 (7名程度)
- ②関係機関及び関係団体の職員 (20名程度)
- ③18歳以上の市民または通勤する者で市長が公募により選考した者 (4名程度)
- ※①～③は令和3・4年度を通して選任
- ④市議会議員 (6名程度)

その他意見聴取【令和3年度実施】

専門家からの意見聴取

より先駆的な視点を総合計画に盛り込んでいくため, 「次世代育成・少子化対策」, 「デジタル技術の活用」, 「脱炭素化の推進」等のテーマの専門家等にヒアリングを実施する。

SNSを活用した意見聴取 (宇都宮×未来フォーラム)

これからのまちづくりを担う若年層が明日への希望がもてる社会を構築していくため, 総合計画の改定に当たり, SNSを活用し, 若年層を中心とする市民等からの意見を収集する。